

表7 第2回調査の回答者＝主な保育者＝母親のケース

		該当ケース		回収ケース全体	
		度数	パーセント	度数	パーセント
合計		39,310	100.0	43,926	100.0
(第1回時) 母親の年齢	19歳以下	428	1.1	493	1.1
	20～24歳	4,385	11.2	4,949	11.3
	25～29歳	15,330	39.0	16,932	38.5
	30～34歳	14,161	36.0	15,775	35.9
	35～39歳	4,478	11.4	5,161	11.7
	40歳以上	528	1.3	616	1.4
/多胎 単胎	単胎	38,509	98.0	43,034	98.0
	双子	781	2.0	866	2.0
	3つ子	20	0.1	26	0.1
同居者 変化 構成の	前回(第1回)から祖父母と別居	29,895	76.0	32,877	74.8
	祖父母と別居 → 同居	1,224	3.1	1,458	3.3
	前回(第1回)から祖父母と同居	7,295	18.6	8,565	19.5
	祖父母と同居 → 別居	890	2.3	1,016	2.3
	不詳	0	0	10	0.0
祖 父 母 と の 来 訪	祖父母と同居	8,520	21.7	10,026	21.3
	祖父母とほとんど毎日・週に2～3回	12,819	32.6	14,172	30.1
	祖父母と月に1～3回	12,857	32.7	13,946	29.7
	祖父母と数回	4,376	11.1	4,881	10.4
	行き来しなかった・いない・不詳	192	0.5	252	0.6
	全部不詳	546	1.4	649	1.5
利用 の 保 育 士 等	利用	6,528	16.6	6,528	18.7
	利用せず	32,782	83.4	35,705	81.3
有 無 の 兄 姉	兄弟あり	20,150	51.3	22,475	51.2
	兄弟なし	19,160	48.7	21,451	48.8
有 無 の 弟 妹	弟妹あり	1,579	4.0	1,757	4.0
	弟妹なし	37,731	96.0	42,169	96.0
(出産1年半後) 調査時の母親の就業状況	家事専業	26,257	66.8	27,904	63.5
	無職	1,810	4.6	2,005	4.6
	学生	62	0.2	78	0.2
	勤め(常勤)	4,852	12.3	6,536	14.9
	勤め(パート・アルバイト)	3,696	9.4	4,434	10.1
	自営業・家業	1,748	4.4	1,956	4.5
	内職	577	1.5	608	1.4
	その他	119	0.3	133	0.3
	不詳	189	0.5	272	0.6

(注) 1%以上差がついている項目に網掛けをした。

2. 分析事例：子育ての負担感の規定要因

以上のような子育て関連項目の分析の基礎的作業を踏まえ、本稿では、「平成 13 年 1 月（7 月）に生まれたお子さんを育てていて（第 1 回のみ「もって」）負担に思うことは何ですか」という設問（複数回答）の各項目について、選択非選択と属性項目との関連性を検討する。

分析に使用するデータは、第 1 回、第 2 回それぞれについて、回答者と主な保育担当者双方に母親が含まれるケースとする。具体的には、第 1 回 42,029 ケース、第 2 回 39,310 ケースである。第 2 回に回答して、第 1 回に回答していないケースは存在しないので、第 2 回の分析の際にも、第 1 回の設問項目を用いることもある。

分析ケースを回答者と保育担当者が一致しているケースに絞ったのは、子育ての負担感においては、実際に子育てを担っているか否かで主観的な負担感が大きく異なることが予測されるからである。また、母親に限定したのは、役割によって、考慮すべき変数が大きく異なると判断できることに加え、育児不安や子ども観などの先行研究は母親（または出産可能年齢の女性全般）の置かれた社会的地位に注目したものが中心だからである。

なお、負担感や育児不安の要因としては、先行研究により以下の諸点が指摘されている。

- ① 新エンゼルプランをはじめとして育児の社会的ネットワークの確立が叫ばれるように、育児の孤立化が不安の大きな要因であるという点は、ほぼ通説と言ってよい。これと表裏一体の減少として、旧来のネットワークである祖父母の援助が、若い母親たちに好意的に受け入れられているという指摘もある（直井 2000）。
- ② 夫の家事育児分担が母親の育児感情と関係している（柏木・若松 1994 など）
- ③ 職業を持つ母親よりも、専業主婦に育児不安が強い（『平成 13 年度版国民生活白書』など）

分析概要

これらより、まず、負担に思うことが 1 つでもあるかないか、次に、具体的に負担に思うことそれぞれに当てはまるか否かを従属変数とする。そして、独立変数には、以下の項目を用いる。

育児経験（実子でないケースもありうるが判別できないため、兄弟がいるか否かで代理）、
子どもの人数（多胎児か否か、兄弟、弟妹がいるか否か）

母親の年齢（見通しをよくするために、一貫して第 1 回時のものを使用）

母親の就業状況（出産前と調査時点で有職（または学生）か無職か求職中か＝無職を基準としたダミー）

父親の育児参加（具体的な家事育児分担を尋ねた項目もあるが、ここでは、客観的な時間よりも回答者の意識を重視し、主な保育担当者に父親があがっているか否かを使用）

祖父母の援助（同居しているか否かで代理）、
 保育士等の利用（ふだんの保育者に保育士・保育ママさんをあげているか否か）
 身近な相談者の存在（悩みや不安を相談するか否か）

従属変数と独立変数の関係を見てみると、第1回においては（章末付表1参照）、負担感の内容を問わず、負担感の有無のみを問題とした場合、多胎児である場合、調査時点で求職中の場合、保育士や特に保育ママさんがふだんの保育をしている場合、悩みを相談しない場合などで負担感が高く、祖父母と同居している場合には負担感が低い傾向がある。

同様に、第2回においては（章末付表2参照）、多胎児である場合、母親の年齢が高い場合、調査時点で求職中の場合、悩みを相談しない場合などで負担感が高く、兄姉も弟妹もいる場合、調査時点で学生や有職の場合、祖父母と同居している場合などで負担感が低い。

負担感の有無

以上の変数を用いて、ロジスティック回帰分析による係数の検討を行った結果が表8である。

表8 子育ての負担感の有無の回帰分析

（第1回調査）

	子どもを持って負担に思うことがある (N=40,262)		
	B	有意確率	Exp (B)
兄姉ありダミー	0.037	0.196	1.038
多胎ダミー	0.916	*** 0.000	2.500
第1回時の母親の年齢	0.006	* 0.036	1.006
出産前学生+有職ダミー	0.018	0.468	1.019
現在学生+有職ダミー	-0.110	** 0.001	0.895
現在求職中ダミー	0.240	*** 0.000	1.271
父=保育担当ダミー	-0.017	0.704	0.983
祖父母同居ダミー	-0.232	*** 0.000	0.793
保育外注ダミー	0.244	** 0.003	1.277
相談者ありダミー	-0.632	*** 0.000	0.532
定数	1.876	*** 0.000	6.526
Cox & Snell R 2 乗	0.005		
Nagelkerke R 2 乗	0.008		

+p<0.1 *p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

（第2回調査）

	子どもを持って負担に思うことがある (N=35,033)		
	B	有意確率	Exp (B)
兄姉ありダミー	-0.092	* 0.012	0.912
弟妹ありダミー	0.021	0.807	1.021
多胎ダミー	1.316	*** 0.000	3.727
第1回時の母親の年齢	0.013	*** 0.001	1.013
出産前学生+有職ダミー	-0.031	+ 0.097	0.969
現在学生+有職ダミー	-0.133	** 0.004	0.875
現在求職中ダミー	0.402	*** 0.000	1.495
父=保育担当ダミー	-0.027	0.427	0.973
祖父母同居ダミー	-0.251	*** 0.000	0.778
保育外注ダミー	0.039	0.478	1.040
相談者ありダミー	-0.644	** 0.004	0.525
定数	2.381	*** 0.000	10.816
Cox & Snell R 2 乗	0.006		
Nagelkerke R 2 乗	0.011		

+p<0.1 *p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

第1回と第2回で変数が同一ではないので、厳密な意味での比較はできないが、ほぼ近い結果が出ている。

これによると、きょうだい構成に関しては、第2回において兄姉があることがわずかに選択率を下げるものの、それ以外は有意ではなく、兄姉・弟妹の有無は大きな影響力を持たないと言える。一方、多胎児であると負担感を持つ確率がかなり高い。

母親の属性については、年齢は高い方が若干選択率が高くなる。職業においては、出産前の職業との関係性は薄く、現在学生または有職であれば（無職に比べて）選択率が低く、専業主婦よりも、仕事を持っている方が育児負担感が低い。これは、先行研究が支持された形である。一方で、求職中であればかなり選択率が高くなっており、希望通り無職（専業主婦）である場合に比べ、就職を希望しながらかなわない場合の負担感が高くなっていることがうかがわれる。

育児ネットワークについては、父の育児参加はあまり関係せず、祖父母と同居していると選択率が下がる。現実的・精神的な手助けを得られるということであろう。また、相談者がいる方がいない場合に比べてかなり選択率が下がっており、誰であるかに限らず育児の悩み・不安が相談できる相手が必要であるという常識的な結果が出ている。

次に、具体的な項目ごとに同様の分析を行った結果が表 9～15 である。（ただし、「子どもが病気がちである」は、子どもの病歴など、別の変数を考慮すべきと考えられるため除いた。）

「子育てによる身体の疲れが大きい」

身体的な負担感については、具体的な負担の多寡の他、負担への慣れや精神的な安定性といった別の要因が関係しているようである。

多胎児の場合選択率が 2 倍以上で、多胎児の子育てに身体的負担がかかることがうかがわれる。また、母親の年齢が高い方がやや選択率が高く、母親が年齢があがるほど体力的に厳しいと考えていることによると思われる。

表9 子育ての負担感の回帰分析(子育てによる身体の疲れが大きい)

(第1回調査)

	子育てによる身体の疲れが大きい(N=40,391)		
	B	有意確率	Exp (B)
兄弟ありダミー	-0.038	0.108	0.963
多胎ダミー	0.896	*** 0.000	2.449
第1回時の母親の年齢	0.054	*** 0.000	1.055
出産前学生+有職ダミー	-0.144	*** 0.000	0.866
現在学生+有職ダミー	-0.179	*** 0.000	0.836
現在求職中ダミー	-0.041	0.249	0.960
父=保育担当ダミー	0.046	0.220	1.047
祖父母同居ダミー	-0.275	*** 0.000	0.760
保育外注ダミー	0.211	*** 0.001	1.235
相談者ありダミー	-0.449	*** 0.000	0.638
定数	-1.364	*** 0.000	0.256
Cox & Snell R ² 乗	0.025		
Nagelkerke R ² 乗	0.033		

+p<0.1 *p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

(第2回調査)

	子育てによる身体の疲れが大きい(N=35,119)		
	B	有意確率	Exp (B)
兄弟ありダミー	0.004	0.860	1.004
弟妹ありダミー	0.038	0.510	1.038
多胎ダミー	0.723	*** 0.000	2.060
第1回時の母親の年齢	0.052	*** 0.000	1.053
出産前学生+有職ダミー	-0.041	** 0.003	0.960
現在学生+有職ダミー	-0.211	*** 0.000	0.810
現在求職中ダミー	-0.063	0.109	0.939
父=保育担当ダミー	0.016	0.473	1.016
祖父母同居ダミー	-0.247	*** 0.000	0.781
保育外注ダミー	0.133	*** 0.000	1.142
相談者ありダミー	-0.426	*** 0.000	0.653
定数	-1.385	*** 0.000	0.250
Cox & Snell R ² 乗	0.020		
Nagelkerke R ² 乗	0.028		

+p<0.1 *p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

母親の職業については、出産前、調査時点とも、身体的負担がより大きいと考えられる有職の方が無職に比べて選択率が低い。身体的負担に慣れているということかもしれない。

社会的ネットワークについては、祖父母が同居している方がかなり選択率が低く、具体的に家事・育児の面で援助を得られていると思われる。しかし、同様の援助でも、保育士・保育ママさんを頼んでいる場合は選択率が高い。出生半年、1年半という段階で、保育士・保育ママさんが主な保育担当者にあがっているケースは少数であるため、より厳しい状態で仕事と家事を両立しているケースであるからかもしれない。

また、精神面とは直接関係しない項目である相談者の有無でも、相談者がいた方が選択率がかかなり選択率が低くなっている。これは、心理的な不安感の緩和が身体面にも関係しているのか、相談できる相手は実際の育児遂行も含んだ全面的な援助者だからかであろう。

「子育てで出費がかさむ」

この項目は、子育てに伴う出費の多寡、母親の収入の有無といった、具体的な家計の收支状況が大きく関連しているように思われる。

きょうだい構成については、兄姉、弟妹、多胎、すべてで選択率がかかなり高くなっており、子どもの数が大きく影響していることがわかる。母親の年齢は若い方が、母親自身の収入も低く、父親も若いことが多く家計全体の収入も少ないためか、選択率がやや高い。

職業は、出産前と現在の職業は、学生または有職のケースがやや選択率が低いときもある。第1回時も第2回時も求職中の場合は選択率がかかなり高い。因果関係としては、出費がかさむので職を探しているというところであろう。

表10 子育ての負担感の回帰分析(子育てで出費がかさむ)

(第1回調査)

	子育てで出費がかさむ (N=40,391)			
	B	有意確率	Exp (B)	
兄姉ありダミー	0.456	*** 0.000	1.579	
多胎ダミー	1.218	*** 0.000	3.380	
第1回時の母親の年齢	-0.030	*** 0.000	0.970	
出産前学生+有職ダミー	0.005	0.812	1.005	
現在学生+有職ダミー	-0.158	*** 0.000	0.853	
現在求職中ダミー	0.507	*** 0.000	1.661	
父=保育担当ダミー	0.006	0.884	1.006	
祖父母同居ダミー	-0.079	** 0.004	0.924	
保育外注ダミー	0.581	*** 0.000	1.787	
相談者ありダミー	-0.332	** 0.003	0.718	
定数	0.289	* 0.032	1.335	
Cox & Snell R ² 乗	0.026			
Nagelkerke R ² 乗	0.036			

+p<0.1 *p<0.05 ***p<0.01 ****p<0.001

(第2回調査)

	子育てで出費がかさむ (N=35,119)			
	B	有意確率	Exp (B)	
兄姉ありダミー	0.408	*** 0.000	1.505	
弟妹ありダミー	0.287	*** 0.000	1.333	
多胎ダミー	1.023	*** 0.000	2.781	
第1回時の母親の年齢	-0.032	*** 0.000	0.968	
出産前学生+有職ダミー	-0.031	* 0.043	0.969	
現在学生+有職ダミー	-0.014	0.695	0.986	
現在求職中ダミー	0.601	*** 0.000	1.823	
父=保育担当ダミー	-0.005	0.838	0.995	
祖父母同居ダミー	-0.141	*** 0.000	0.868	
保育外注ダミー	0.326	*** 0.000	1.386	
相談者ありダミー	-0.346	** 0.003	0.707	
定数	-0.005	0.970	0.995	
Cox & Snell R ² 乗	0.025			
Nagelkerke R ² 乗	0.037			

+p<0.1 *p<0.05 ***p<0.01 ****p<0.001

育児の社会的ネットワークでは、祖父母と同居している場合は選択率がやや低くなる傾向がある。同居の方が金銭的にゆとりがあるのかどうかは一概には言えないが、祖父母の同居が負担感の引き下げにつながっているようである。保育士・保育ママさんを頼んでいる場合は、選択率が高くなっており、家計にひびいているようである。また、ここでも、金銭的援助とは直接関係ないと思われる相談者の存在が負担感と関係しているという結果が出ている。

「自分の自由な時間が持てない」

この項目は、主観的な要求水準が大きく関係していると思われる。

きょうだい構成では、多胎児では他の項目同様負担感が大きい、兄弟・弟妹がいる場合の方が選択率が低くなっている。「2人目」以降を生もうとした時点で、「自分の自由な時間」に対する要求水準が変わるか、育児に慣れて実際に時間が確保されているということであろうか。

同様に、現時点で有職、第1回に関しては求職中の場合も、選択率が低くなっているが、仕事＝「自分の時間」と捉えているか、「自分の時間」への要求のあり方が無職（専業主婦）と異なっているということであろう。

社会的ネットワークについては、祖父母が同居している場合と保育士・保育ママさんを頼んでいる場合、相談者がいる場合に選択率が下がっており、他者の援助が得られている場合は、自分の時間が実際に確保できるか、心理的に負担感を感じづらくなっているようである。

表11 子育ての負担感の回帰分析(自分の自由な時間が持てない)

(第1回調査)

	自分の自由な時間が持てない(N=40,391)			
	B	有意確率	Exp (B)	
兄弟ありダミー	-0.160	*** 0.000	0.852	
多胎ダミー	0.293	*** 0.000	1.341	
第1回時の母親の年齢	0.000	0.843	1.000	
出産前学生+有職ダミー	0.007	0.725	1.007	
現在学生+有職ダミー	-0.152	*** 0.000	0.859	
現在求職中ダミー	-0.104	** 0.003	0.901	
父=保育担当ダミー	0.106	** 0.003	1.112	
祖父母同居ダミー	-0.124	*** 0.000	0.884	
保育外注ダミー	-0.151	* 0.014	0.860	
相談者ありダミー	-0.259	** 0.023	0.772	
定数	0.628	*** 0.000	1.874	
Cox & Snell R ² 乗	0.004			
Nagelkerke R ² 乗	0.006			

+p<0.1 *p<0.05 ***p<0.01 ****p<0.001

(第2回調査)

	自分の自由な時間が持てない(N=35,119)			
	B	有意確率	Exp (B)	
兄弟ありダミー	-0.127	*** 0.000	0.880	
弟妹ありダミー	-0.137	** 0.018	0.872	
多胎ダミー	0.509	*** 0.000	1.664	
第1回時の母親の年齢	0.007	** 0.012	1.007	
出産前学生+有職ダミー	0.000	0.987	1.000	
現在学生+有職ダミー	-0.222	*** 0.000	0.801	
現在求職中ダミー	0.022	0.599	1.022	
父=保育担当ダミー	0.042	+ 0.073	1.043	
祖父母同居ダミー	-0.108	*** 0.000	0.897	
保育外注ダミー	-0.245	*** 0.000	0.783	
相談者ありダミー	-0.125	0.289	0.882	
定数	0.777	0.000	2.175	
Cox & Snell R ² 乗	0.010			
Nagelkerke R ² 乗	0.014			

+p<0.1 *p<0.05 ***p<0.01 ****p<0.001

「夫婦で楽しむ時間がない」

この項目も、主観的な要求水準が大きく影響していると思われる。

兄弟がいる場合は、選択率が下がり、多胎、弟妹がいる場合は選択率が上がっている。上の子がいる場合は、育児に慣れているかまたは要求水準自体が下がっているのに対し、下の子（しかもこの時点の弟妹は対象子と年子を意味する）ができた場合は、乳幼児を多く抱えた状態となり、多胎児に近い状態になるということではないだろうか。

母親の年齢が高い方がわずかながら選択率が下がる。若いときに比べて「夫婦の時間」に対して要求がなくなってくるのであろうか。

有意でない場合もあるが、出産前も調査時点も学生または有職である方が選択率が低い傾向がある。仕事＝「自分の時間」という認識の可能性がある前項目とは異なり、仕事を持っていると夫婦の時間が明らかに限られる。にもかかわらず、選択率が下がっているということは、職を持っている場合に、要求水準自体が変化している可能性が示唆される。

父親がふだんの育児を担っている方が選択率が高く、夫婦の時間がともに育児に取られているという感覚があるようである。逆に言えば、父親が協力的でない場合などは、夫婦の時間を持ちたいという要求自体が下がっている可能性が考えられる。

社会的ネットワークについては、祖父母が同居している場合と、第1回目に関しては相談者がいる場合は、選択率が低くなっており、「自分の時間が持てない」の場合と同様、他者の援助が得られている場合は、自分の時間が実際に確保できるか、心理的に余裕が持てているようである。

表12 子育ての負担感の回帰分析(夫婦で楽しむ時間がない)
(第1回調査)

	夫婦で楽しむ時間がない (N=40,391)			
	B	有意確率	Exp (B)	
兄弟ありダミー	-0.201	*** 0.000	0.818	
多胎ダミー	0.512	*** 0.000	1.668	
第1回時の母親の年齢	-0.015	*** 0.000	0.985	
出産前学生+有職ダミー	-0.068	** 0.005	0.934	
現在学生+有職ダミー	-0.030	0.352	0.970	
現在求職中ダミー	-0.078	+ 0.056	0.925	
父=保育担当ダミー	0.128	** 0.002	1.137	
祖父母同居ダミー	-0.161	*** 0.000	0.852	
保育外注ダミー	0.024	0.739	1.025	
相談者ありダミー	-0.320	** 0.009	0.726	
定数	-0.244	+ 0.095	0.783	
Cox & Snell R ² 乗	0.005			
Nagelkerke R ² 乗	0.008			

+p<0.1 *p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

(第2回調査)

	夫婦で楽しむ時間がない (N=35,119)			
	B	有意確率	Exp (B)	
兄弟ありダミー	-0.130	*** 0.000	0.878	
弟妹ありダミー	0.235	*** 0.000	1.265	
多胎ダミー	0.475	*** 0.000	1.608	
第1回時の母親の年齢	-0.021	*** 0.000	0.979	
出産前学生+有職ダミー	-0.033	* 0.037	0.967	
現在学生+有職ダミー	-0.132	** 0.000	0.876	
現在求職中ダミー	-0.052	0.241	0.950	
父=保育担当ダミー	0.196	*** 0.000	1.217	
祖父母同居ダミー	-0.151	*** 0.000	0.860	
保育外注ダミー	0.017	0.691	1.017	
相談者ありダミー	0.159	0.239	1.172	
定数	-0.608	*** 0.000	0.544	
Cox & Snell R ² 乗	0.008			
Nagelkerke R ² 乗	0.012			

+p<0.1 *p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

「仕事が十分できない」

この項目は、仕事がしたいと思っているか否かがそもそも前提として大きく関わっている。つまり、出産前も調査時点でも、母親が無職に比べて学生または有職の場合の選択率が高くなっている。求職中の場合は、選択率がかなり高くなっており、仕事と育児の両立が大きな問題となっていることがうかがえる。

保育士・保育ママさんを頼んでいる場合は、現実問題として母親が仕事をしているためか、選択率が上がっている。

また、第1回では影響はないが、第2回になると、父親の協力と祖父母との同居が負担感を下げていることがわかる。ここでも、相談者がいる場合は選択率が大きく下がっている。

そのほか、兄弟がいる場合や第1回に関しては多胎児の場合に選択率が高くなる他、母親の年齢が高い方がわずかに選択率が高い。

表13 子育ての負担感の回帰分析(仕事が十分できない)
(第1回調査)

	仕事が十分にできない (N=40,391)		
	B	有意確率	Exp (B)
兄弟ありダミー	0.103	** 0.003	1.108
多胎ダミー	0.281	** 0.006	1.324
第1回時の母親の年齢	0.024	*** 0.000	1.025
出産前学生+有職ダミー	0.381	*** 0.000	1.464
現在学生+有職ダミー	0.902	*** 0.000	2.464
現在求職中ダミー	1.408	*** 0.000	4.090
父=保育担当ダミー	0.068	0.194	1.071
祖父母同居ダミー	0.045	0.242	1.046
保育外注ダミー	0.391	*** 0.000	1.478
相談者ありダミー	-0.539	*** 0.000	0.583
定数	-2.967	*** 0.000	0.051
Cox & Snell R ² 乗	0.049		
Nagelkerke R ² 乗	0.094		

+p<0.1 *p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

(第2回調査)

	仕事が十分にできない (N=35,119)		
	B	有意確率	Exp (B)
兄弟ありダミー	0.099	** 0.002	1.104
弟妹ありダミー	-0.128	0.134	0.880
多胎ダミー	0.103	0.319	1.109
第1回時の母親の年齢	0.020	*** 0.000	1.020
出産前学生+有職ダミー	0.066	*** 0.000	1.068
現在学生+有職ダミー	1.516	*** 0.000	4.555
現在求職中ダミー	1.651	*** 0.000	5.211
父=保育担当ダミー	-0.150	*** 0.000	0.861
祖父母同居ダミー	-0.147	*** 0.000	0.864
保育外注ダミー	0.157	*** 0.000	1.170
相談者ありダミー	-0.599	*** 0.000	0.549
定数	-2.406	*** 0.000	0.090
Cox & Snell R ² 乗	0.087		
Nagelkerke R ² 乗	0.145		

+p<0.1 *p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

「子育てが大変なことを理解してくれない」

心理的な要素が大きく関わる設問であり、相談者がいる方がいない場合に比べてはるかに選択率が低くなっている。父が保育を担当している方がかなり選択率が低く、子どもの親として父親が協力的であると見なされているか否が、心理的負担感に影響しているという先行研究の知見が裏付けられている。

ただし、他の項目では、負担感を下げる方向に働いていた祖父母の同居が、この項目では、第1回に負担感を助長するように働いており、身近にいながら理解してくれないという感覚を持ちがちであることも示唆される。

表14 子育ての負担感の回帰分析(子育てが大変なことを理解してくれない)
(第1回調査)

	子育てが大変なことを理解してくれない (N=40,391)		
	B	有意確率	Exp (B)
兄弟ありダミー	0.224	*** 0.000	1.250
多胎ダミー	0.657	*** 0.000	1.930
第1回時の母親の年齢	-0.004	0.465	0.996
出産前学生+有職ダミー	0.010	0.801	1.010
現在学生+有職ダミー	0.008	0.885	1.008
現在求職中ダミー	0.396	*** 0.000	1.486
父=保育担当ダミー	-0.282	*** 0.000	0.754
祖父母同居ダミー	0.332	*** 0.000	1.393
保育外注ダミー	0.288	* 0.013	1.334
相談者ありダミー	-1.934	*** 0.000	0.145
定数	-0.995	*** 0.000	0.370
Cox & Snell R ² 乗	0.009		
Nagelkerke R ² 乗	0.023		

+p<0.1 *p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

(第2回調査)

	子育てが大変なことを理解してくれない (N=35,119)		
	B	有意確率	Exp (B)
兄弟ありダミー	0.123	* 0.014	1.130
弟妹ありダミー	0.054	0.634	1.056
多胎ダミー	0.910	*** 0.000	2.484
第1回時の母親の年齢	0.002	0.659	1.002
出産前学生+有職ダミー	-0.043	0.153	0.958
現在学生+有職ダミー	-0.149	* 0.028	0.862
現在求職中ダミー	0.477	*** 0.000	1.612
父=保育担当ダミー	-0.447	*** 0.000	0.640
祖父母同居ダミー	-0.005	0.919	0.995
保育外注ダミー	0.152	* 0.046	1.164
相談者ありダミー	-1.838	*** 0.000	0.159
定数	-0.871	*** 0.000	0.419
Cox & Snell R ² 乗	0.013		
Nagelkerke R ² 乗	0.034		

+p<0.1 *p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

その他、多胎児の場合の他、兄弟がいる場合に選択率が高く、子育てが長期に及んでいくためかもしれない。また、調査時点で求職中の場合も選択率が高く、仕事を探しながら決まっていないことが心理的負担感にも影響しているようである。

「目が離せないので気が休まらない」

表15 子育ての負担感の回帰分析(目が離せないので気が休まらない)
(第2回調査)

	目が離せないので気が休まらない (N=35,119)		
	B	有意確率	Exp (B)
兄弟ありダミー	-0.029	0.241	0.971
弟妹ありダミー	0.259	*** 0.000	1.296
多胎ダミー	0.680	*** 0.000	1.974
第1回時の母親の年齢	0.019	*** 0.000	1.019
出産前学生+有職ダミー	0.006	0.651	1.006
現在学生+有職ダミー	-0.251	*** 0.000	0.778
現在求職中ダミー	0.047	0.228	1.048
父=保育担当ダミー	-0.123	*** 0.000	0.884
祖父母同居ダミー	0.019	0.491	1.020
保育外注ダミー	-0.323	*** 0.000	0.724
相談者ありダミー	-0.520	*** 0.000	0.595
定数	-0.496	*** 0.000	0.609
Cox & Snell R ² 乗	0.015		
Nagelkerke R ² 乗	0.021		

+p<0.1 *p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

第2回調査で加わった項目であるが、多胎児や弟妹がいる場合など、乳幼児が多い場合に選択率が高くなっている。また、兄姉の有無は有意ではないので育児経験はあまり関係していないようであるが、母親が若い方がやや選択率が高くなっている。

また、現調査時に学生や有職である場合、保育士・保育ママさんを頼んでいる場合が選択率が低く、子育てだけに時間と意識をとられない状況の方が選択率が低いと言える。また、祖父母の同居は関係していないが、ここでも父親の保育協力が負担感を下げる方向に働いている。

まとめ

以上の分析事例は、育児不安等の先行研究を大きく逸脱していない。しかし、第1回と第2回で大きな違いはないものの、母親の調査時点での就業状況や、父親が保育担当者であるか否かといった点を中心に、差異が見られた。もちろん、モデルが同一ではないので、注意すべきではあるが、育児休業中であつたり母親自身も就業を考えていなかったりする出産半年後（第1回調査時）に比べて、出産1年半後（第2回調査時）となると、就業や周囲の援助に対して要求水準が変わってきているのであろう。第1回調査に含まれる項目は、第5回調査までは少なくとも、継続して含まれている。したがって、継続して分析をしていくことが重要であろう。

表16 第1回目調査と第2回目調査での負担感に関する項目の回答の変化

	子どもを育てていて負担に思うことがある *		子育てによる身体の疲れが大きい		子育てで出費がかさむ		自分の自由な時間が持てない	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
第1回、第2回とも該当	26,881	73.3%	9,117	24.9%	6,384	17.4%	16,656	45.4%
第1回該当→第2回非該当	1,763	4.8%	5,472	14.9%	5,969	16.3%	3,823	10.4%
第1回非該当→第2回該当	4,521	12.3%	5,404	14.7%	3,431	9.4%	7,088	19.3%
第1回、2回とも非該当	2,604	7.1%	16,692	45.5%	20,901	57.0%	9,118	24.9%

注*) 合計が100%ではないのは、第1回、2回どちらかが不詳のケースがあるため

(つづき)

	夫婦で楽しむ時間がない		仕事で十分にできない		子育てが大変なことを身近な人が理解してくれ	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
第1回、第2回とも該当	4,630	12.6%	2,202	6.0%	767	2.1%
第1回該当→第2回非該当	3,976	10.8%	2,093	5.7%	1,381	3.8%
第1回非該当→第2回該当	4,275	11.7%	3,812	10.4%	1,497	4.1%
第1回、2回とも非該当	23,804	64.9%	28,578	77.9%	33,040	90.1%

また、今後、第1回目と第2回目での負担感の有無の変化の分析などを行って行くことが重要であろう。参考として、第1回、第2回とも回答者と保育担当者に母親が含まれる36,685 ケースについて、負担感に関する各項目に対する該当・非該当の変化を見たのが、表16である。回答の全般的な傾向に大きな変化はないが、「子育てで出費がかさむ」以外のすべての項目において、第1回目で非該当だったのに第2回目で該当とするケースが、その逆を上回っている。しかし、一方で、「子育てで出費がかさむ」「夫婦で楽しむ時間がない」「仕事が十分にできない」「子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない」については、第1回目に該当とした人のうちの半数近い人が第2回目では非該当としている。このように、回答内容の変動が激しいので、変化の要因を分析して行くことが肝要と思われる。

参考文献

直井道子 2000「家意識と祖母の育児」江原由美子目黒依子・矢澤澄子編『少子化時代のジェンダーと母親意識』新曜社

柏木恵子・若松素子 1994「親となる」ことによる人格発達『発達心理学研究』5(1)

内閣府国民生活局『平成13年度国民生活白書』

付表1 子育ての負担感と回答者＝保育担当者＝母の属性のクロス表(第1回)

		子どもをもって負担に思うこと(第1回)			子どもをもって負担に思うことの内容(第1回)								
		負担に思うことがある	負担に思うことがない	不詳	子育てによる身体 の疲れが大きい	子育てで 出費がかさむ	自分の自 由な時間 が持てない	夫婦で楽 しむ時間 がない	仕事が十 分にでき ない	子育てが 大変なこ とを理解 してくれ ない	子どもが 病気がち である	その他	
合計		42,029 100.0%	33,455 79.6%	8,355 19.9%	219 0.5%	16,565 49.5%	14,369 43.0%	23,311 69.7%	9,813 29.3%	5,117 15.3%	2,497 7.5%	1,423 4.3%	2,609 7.8%
第1回時の兄 姉の有無	兄弟なし	20,975 100.0%	16,655 79.4%	4,212 20.1%	108 0.5%	7,875 47.3%	6,354 38.2%	12,076 72.5%	5,314 31.9%	2,529 15.2%	1,116 6.7%	369 2.2%	1,099 6.6%
	兄弟あり	21,054 100.0%	16,800 79.8%	4,143 19.7%	111 0.5%	8,690 51.7%	8,015 47.7%	11,235 66.9%	4,499 26.8%	2,588 15.4%	1,381 8.2%	1,054 6.3%	1,510 9.0%
第1回時のきょう だい数	1人(本人のみ)	20,517 100.0%	16,246 79.2%	4,163 20.3%	108 0.5%	7,600 46.8%	6,131 37.7%	11,776 72.5%	5,160 31.8%	2,464 15.2%	1,073 6.6%	358 2.2%	1,078 6.6%
	2人	15,537 100.0%	12,530 80.6%	2,939 18.9%	68 0.4%	6,488 51.8%	5,637 45.0%	8,643 69.0%	3,604 28.8%	1,757 14.0%	987 7.9%	734 5.9%	1,122 9.0%
	3人以上	5,975 100.0%	4,679 78.3%	1,253 21.0%	43 0.7%	2,477 52.9%	2,601 55.6%	2,892 61.8%	1,049 22.4%	896 19.1%	437 9.3%	331 7.1%	409 8.7%
単胎・多胎の 別	単胎	41,192 100.0%	32,695 79.4%	8,278 20.1%	219 0.5%	16,053 49.1%	13,857 42.4%	22,781 69.7%	9,532 29.2%	4,994 15.3%	2,410 7.4%	1,371 4.2%	2,541 7.8%
	双子	815 100.0%	741 90.9%	74 9.1%	0 0.0%	499 67.3%	496 66.9%	517 69.8%	275 37.1%	111 15.0%	84 11.3%	52 7.0%	65 8.8%
	3つ子	22 100.0%	19 86.4%	3 13.6%	0 0.0%	13 68.4%	16 84.2%	13 68.4%	6 31.6%	12 63.2%	3 15.8%	0 0.0%	3 15.8%
第1回時の母 親の年齢	19歳以下	579 100.0%	458 79.1%	120 20.7%	1 0.2%	164 35.8%	220 48.0%	324 70.7%	134 29.3%	81 17.7%	47 10.3%	10 2.2%	25 5.5%
	20歳～24歳	5,143 100.0%	4,052 78.8%	1,062 20.6%	29 0.6%	1,616 39.9%	1,937 47.8%	2,851 70.4%	1,284 31.7%	646 15.9%	330 8.1%	170 4.2%	263 6.5%
	25歳～29歳	16,373 100.0%	13,012 79.5%	3,289 20.1%	72 0.4%	5,937 45.6%	5,650 43.4%	9,203 70.7%	4,046 31.1%	1,786 13.7%	901 6.9%	541 4.2%	946 7.3%
	30～34歳	14,733 100.0%	11,773 79.9%	2,877 19.5%	83 0.6%	6,289 53.4%	4,868 41.3%	8,188 69.5%	3,315 28.2%	1,726 14.7%	886 7.5%	542 4.6%	1,026 8.7%
	35～39歳	4,640 100.0%	3,706 79.9%	904 19.5%	30 0.6%	2,252 60.8%	1,503 40.6%	2,469 66.6%	922 24.9%	757 20.4%	287 7.7%	144 3.9%	313 8.4%
40歳以上	561 100.0%	454 80.9%	103 18.4%	4 0.7%	307 67.6%	191 42.1%	276 60.8%	112 24.7%	121 26.7%	46 10.1%	16 3.5%	36 7.9%	
出産1年前の 就業状況	無職	18,434 100.0%	14,790 80.2%	3,559 19.3%	85 0.5%	8,058 54.5%	6,805 46.0%	10,271 69.4%	4,294 29.0%	1,204 8.1%	1,157 7.8%	737 5.0%	1,244 8.4%
	学生	502 100.0%	401 79.9%	97 19.3%	4 0.8%	152 37.9%	170 42.4%	289 72.1%	150 37.4%	70 17.5%	31 7.7%	9 2.2%	34 8.5%
	勤め(常勤)	13,051 100.0%	10,267 78.7%	2,709 20.8%	75 0.6%	4,646 45.3%	3,836 37.4%	7,395 72.0%	3,225 31.4%	1,853 18.0%	668 6.5%	366 3.6%	749 7.3%
	勤め(パート・アルバイト)	7,299 100.0%	5,835 79.9%	1,426 19.5%	38 0.5%	2,638 45.2%	2,650 45.4%	3,977 68.2%	1,624 27.8%	1,242 21.3%	429 7.4%	206 3.5%	414 7.1%
	自営業・家業	1,817 100.0%	1,440 79.3%	366 20.1%	11 0.6%	717 49.8%	563 39.1%	921 64.0%	346 24.0%	547 38.0%	146 10.1%	64 4.4%	110 7.6%
	内職	397 100.0%	312 78.6%	85 21.4%	0 0.0%	157 50.3%	168 53.8%	181 58.0%	64 20.5%	100 32.1%	34 10.9%	22 7.1%	26 8.3%
	その他	181 100.0%	139 76.8%	39 21.5%	3 1.7%	71 51.1%	48 34.5%	96 69.1%	49 35.3%	43 30.9%	8 5.8%	5 3.6%	16 11.5%
	不詳	348 100.0%	271 77.9%	74 21.3%	3 0.9%	126 46.5%	129 47.6%	181 66.8%	61 22.5%	58 21.4%	24 8.9%	14 5.2%	16 5.9%
出産半年後 (第1回調査時) の就業状況	不詳	437 100.0%	328 75.1%	104 23.8%	5 1.1%	162 49.4%	151 46.0%	211 64.3%	74 22.6%	61 18.6%	33 10.1%	14 4.3%	24 7.3%
	仕事を探している	4,129 100.0%	3,412 82.6%	689 16.7%	28 0.7%	1,561 45.8%	1,861 54.5%	2,239 65.6%	922 27.0%	1,052 30.8%	346 10.1%	167 4.9%	274 8.0%
	探していない	27,511 100.0%	21,947 79.8%	5,441 19.8%	123 0.4%	11,276 51.4%	9,251 42.2%	15,627 71.2%	6,581 30.0%	2,004 9.1%	1,527 7.0%	827 3.8%	1,677 7.6%
	学生	76 100.0%	60 78.9%	16 21.1%	0 0.0%	34 56.7%	28 46.7%	47 78.3%	26 43.3%	12 20.0%	4 6.7%	3 5.0%	5 8.3%
	現在育児休業中	4,374 100.0%	3,409 77.9%	935 21.4%	30 0.7%	1,583 46.4%	1,051 30.8%	2,490 73.0%	1,103 32.4%	489 14.3%	225 6.6%	129 3.8%	311 9.1%
	勤め(常勤)	1,582 100.0%	1,208 76.4%	361 22.8%	13 0.8%	553 45.8%	565 46.8%	804 66.6%	351 29.1%	295 24.4%	74 6.1%	115 9.5%	100 8.3%
	勤め(パート・アルバイト)	1,535 100.0%	1,220 79.5%	307 20.0%	8 0.5%	527 43.2%	664 54.4%	707 58.0%	309 25.3%	430 35.2%	101 8.3%	74 6.1%	90 7.4%
	自営業・家業	1,816 100.0%	1,424 78.4%	382 21.0%	10 0.6%	692 48.6%	566 39.7%	911 64.0%	349 24.5%	577 40.5%	145 10.2%	74 5.2%	96 6.7%
	内職	458 100.0%	363 79.3%	93 20.3%	2 0.4%	137 37.7%	194 53.4%	224 61.7%	75 20.7%	166 45.7%	36 9.9%	16 4.4%	21 5.8%
	その他	111 100.0%	84 75.7%	27 24.3%	0 0.0%	40 47.6%	38 45.2%	51 60.7%	23 27.4%	31 36.9%	6 7.1%	4 4.8%	11 13.1%

(前ページの続き)

		子どもをもって負担に思うこと(第1回)			子どもをもって負担に思うことの内容(第1回)								
		負担に思うことがある	負担に思うことがない	不詳	子育てによる身体 の疲れが大きい	子育てで 出費がかさむ	自分の自 由な時間 が持てない	夫婦で楽 しむ時間 がない	仕事で十 分にでき ない	子育てが 大変なこ とを理解 してくれ ない	子どもが 病気がち である	その他	
	合計	20003	15968	3960	75	7994	6797	11256	5014	2175	954	602	1280
ふだんの保育者	お父さん	100.0%	79.8%	19.8%	0.4%	50.1%	42.6%	70.5%	31.4%	13.6%	6.0%	3.8%	8.0%
	おばあさん	8501	6671	1796	34	3196	2955	4709	1952	1231	450	319	488
		100.0%	78.5%	21.1%	0.4%	47.9%	44.3%	70.6%	29.3%	18.5%	6.7%	4.8%	7.3%
	おじいさん	3931	3067	851	13	1468	1317	2212	959	567	209	150	221
		100.0%	78.0%	21.6%	0.3%	47.9%	42.9%	72.1%	31.3%	18.5%	6.8%	4.9%	7.2%
	保育士	1115	911	197	7	439	507	537	243	278	91	136	84
		100.0%	81.7%	17.7%	0.6%	48.2%	55.7%	58.9%	26.7%	30.5%	10.0%	14.9%	9.2%
保育ママさん	134	120	14	0	78	61	76	40	53	6	12	19	
	100.0%	89.6%	10.4%	0.0%	65.0%	50.8%	63.3%	33.3%	44.2%	5.0%	10.0%	15.8%	
その他	871	669	195	7	302	310	438	174	126	44	33	67	
	100.0%	76.8%	22.4%	0.8%	45.1%	46.3%	65.5%	26.0%	18.8%	6.6%	4.9%	10.0%	
同居者構成	父母のみ	16,240	13,030	3,127	83	6,258	4,906	9,492	4,268	1,893	810	270	863
		100.0%	80.2%	19.3%	0.5%	48.0%	37.7%	72.8%	32.8%	14.5%	6.2%	2.1%	6.6%
	父母と双子・三つ子のきょう だいがいる(兄弟はいない)	317	276	41	0	188	146	208	109	40	28	8	15
		100.0%	87.1%	12.9%	0.0%	68.1%	52.9%	75.4%	39.5%	14.5%	10.1%	2.9%	5.4%
	父母と兄姉	15,944	12,845	3,020	79	6,882	6,102	8,591	3,461	1,818	960	785	1,202
		100.0%	80.6%	18.9%	0.5%	53.6%	47.5%	66.9%	26.9%	14.2%	7.5%	6.1%	9.4%
	父母と母方の祖父母	2,233	1,687	530	16	786	792	1,171	503	329	120	96	112
		100.0%	75.5%	23.7%	0.7%	46.6%	46.9%	69.4%	29.8%	19.5%	7.1%	5.7%	6.6%
	父母と父方の祖父母	6,161	4,727	1,407	27	2,065	1,961	3,279	1,365	804	505	202	339
		100.0%	76.7%	22.8%	0.4%	43.7%	41.5%	69.4%	28.9%	17.0%	10.7%	4.3%	7.2%
	父母と祖父母	28	21	7	0	9	13	13	4	3	2	0	2
		100.0%	75.0%	25.0%	0.0%	42.9%	61.9%	61.9%	19.0%	14.3%	9.5%	0.0%	9.5%
	父母とその他	196	151	42	3	62	73	91	42	30	8	5	16
		100.0%	77.0%	21.4%	1.5%	41.1%	48.3%	60.3%	27.8%	19.9%	5.3%	3.3%	10.6%
	母のみ又は母ときょう だいのみ	357	281	69	7	137	138	171	17	87	27	22	24
	100.0%	78.7%	19.3%	2.0%	48.8%	49.1%	60.9%	6.0%	31.0%	9.6%	7.8%	8.5%	
母と祖父母等	550	434	112	4	177	237	294	44	113	37	34	35	
	100.0%	78.9%	20.4%	0.7%	40.8%	54.6%	67.7%	10.1%	26.0%	8.5%	7.8%	8.1%	
その他	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	
不詳	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
育児の悩み相 談者の有無	相談する	40,469	32,478	7,860	131	16,139	13,957	22,683	9,575	4,944	2,359	1,402	2,518
		100.0%	80.3%	19.4%	0.3%	49.7%	43.0%	69.8%	29.5%	15.2%	7.3%	4.3%	7.8%
	誰にも相談しない	333	295	37	1	165	151	203	96	74	105	12	40
		100.0%	88.6%	11.1%	0.3%	55.9%	51.2%	68.8%	32.5%	25.1%	35.6%	4.1%	13.6%
不詳	1,227	682	458	87	261	261	425	142	99	33	9	51	
	100.0%	55.6%	37.3%	7.1%	38.3%	38.3%	62.3%	20.8%	14.5%	4.8%	1.3%	7.5%	

付表2 子育ての負担感と回答者＝保育担当者＝母の属性のクロス表(第2回)

		子どもをもって負担に思うこと(第2回)													
		負担に思うことがある	負担に思うことがない	不詳	子育てによる身体の疲れが大きい	子育てで出費がかさむ	自分の自由な時間が持てない	夫婦で楽しむ時間がない	仕事が多忙にできない	子育てが大変なことを理解してくれない	子どもが病気がちである	目が離せないのが休まらない	その他		
合計	合計	39,310 100.0%	33,745 85.8%	4,728 12.0%	837 2.1%	15,586 46.19	10,495 31.10	25,382 75.22	9,555 28.32	6,430 19.05	2,412 7.15	2,431 7.20	13,393 39.69	1,591 4.71	
第2回時のきょうだい構成	兄弟あり姉妹あり	432 100.0%	346 80.1%	69 16.0%	17 3.9%	152 43.9%	153 44.2%	238 68.8%	106 30.6%	62 17.9%	27 7.8%	40 11.6%	164 47.4%	18 5.2%	
	兄弟あり姉妹なし	19,718 100.0%	16,905 85.7%	2,359 12.0%	454 2.3%	8,229 48.7%	5,888 34.8%	12,521 74.1%	4,445 26.3%	3,471 20.5%	1,340 7.9%	1,532 9.1%	6,744 39.9%	764 4.5%	
	兄弟なし姉妹あり	1,147 100.0%	1,004 87.5%	128 11.2%	15 1.3%	433 43.1%	343 34.2%	747 74.4%	368 36.7%	134 13.3%	74 7.4%	51 5.1%	455 45.3%	39 3.9%	
	兄弟なし姉妹なし	18,013 100.0%	15,490 86.0%	2,172 12.1%	351 1.9%	6,772 43.7%	4,111 26.5%	11,876 76.7%	4,636 29.9%	2,763 17.8%	971 6.3%	808 5.2%	6,030 38.9%	770 5.0%	
	単胎・多胎の別	単胎	38,519 100.0%	32,984 85.6%	4,700 12.2%	835 2.2%	15,118 45.8%	10,069 30.5%	24,792 75.2%	9,299 28.2%	6,295 19.1%	2,303 7.0%	2,343 7.1%	13,001 39.4%	1,545 4.7%
	双子	773 100.0%	743 96.1%	28 3.6%	2 0.3%	456 61.4%	411 55.3%	578 77.8%	247 33.2%	129 17.4%	106 14.3%	82 11.0%	389 52.4%	43 5.8%	
	3つ子	18 100.0%	18 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 66.7%	15 83.3%	12 66.7%	9 50.0%	6 33.3%	3 16.7%	6 33.3%	3 16.7%	3 16.7%	
第1回時の母親の年齢	19歳以下	428 100.0%	358 83.6%	57 13.3%	13 3.0%	135 37.7%	118 33.0%	274 76.5%	106 29.6%	68 19.0%	31 8.7%	19 5.3%	163 45.5%	13 3.6%	
	20歳～24歳	4,385 100.0%	3,755 85.6%	544 12.4%	86 2.0%	1,498 39.9%	1,299 34.6%	2,766 73.7%	1,176 31.3%	716 19.1%	279 7.4%	256 6.8%	1,519 40.5%	143 3.8%	
	25歳～29歳	15,330 100.0%	13,151 85.8%	1,881 12.3%	298 1.9%	5,223 42.0%	4,226 32.1%	9,931 75.5%	4,021 30.6%	2,351 17.9%	867 6.6%	976 7.4%	4,899 37.3%	636 4.8%	
	30～34歳	14,161 100.0%	12,177 86.0%	1,689 11.9%	295 2.1%	5,884 48.3%	3,659 30.0%	9,226 75.8%	3,225 26.5%	2,240 18.4%	908 7.5%	924 7.6%	4,870 40.0%	584 4.8%	
	35～39歳	4,478 100.0%	3,851 86.0%	499 11.1%	128 2.9%	2,245 58.3%	1,061 27.6%	2,860 74.3%	934 24.3%	928 24.1%	292 7.6%	236 6.1%	1,726 44.8%	184 4.8%	
	40歳以上	528 100.0%	453 85.8%	58 11.0%	17 3.2%	301 66.4%	132 29.1%	325 71.7%	93 20.5%	127 28.0%	35 7.7%	20 4.4%	216 47.7%	31 6.8%	
	出産半年後(第1回調査時)の就業状況	仕事を探している	3,533 100.0%	3,059 86.6%	403 11.4%	71 2.0%	1,335 43.6%	1,241 40.6%	2,205 72.1%	830 27.1%	987 32.3%	259 8.5%	274 9.0%	1,194 39.0%	122 4.0%
探していない		26,470 100.0%	22,856 86.3%	3,087 11.7%	527 2.0%	10,752 47.0%	6,907 30.2%	17,577 76.9%	6,623 29.0%	2,905 12.7%	1,653 7.2%	1,243 5.4%	9,586 41.9%	1,085 4.7%	
学生		67 100.0%	55 82.1%	11 16.4%	1 1.5%	24 43.6%	21 38.2%	35 63.6%	21 38.2%	13 23.6%	3 5.5%	7 12.7%	16 29.1%	3 5.5%	
現在育児休業中		3,553 100.0%	3,041 85.6%	425 12.0%	87 2.4%	1,393 45.8%	719 23.6%	2,294 75.4%	890 29.3%	873 28.7%	163 5.4%	432 14.2%	880 28.9%	182 6.0%	
勤め(常勤)		1,624 100.0%	1,339 82.5%	240 14.8%	45 2.8%	570 42.6%	470 35.1%	949 70.9%	369 27.6%	378 28.2%	75 5.6%	162 12.1%	402 30.0%	58 4.3%	
勤め(パート・アルバイト)		1,461 100.0%	1,219 83.4%	213 14.6%	29 2.0%	528 43.3%	461 37.8%	809 66.4%	288 23.6%	446 36.6%	82 6.7%	126 10.3%	424 34.8%	49 4.0%	
自営業・家業		1,678 100.0%	1,414 84.3%	222 13.2%	42 2.5%	651 46.0%	416 29.4%	991 70.1%	350 24.8%	593 41.9%	120 8.5%	113 8.0%	573 40.5%	48 3.4%	
内職		413 100.0%	353 85.5%	52 12.6%	8 1.9%	138 39.1%	136 38.5%	227 64.3%	89 25.2%	145 41.1%	25 7.1%	30 8.5%	142 40.2%	15 4.2%	
その他		105 100.0%	85 81.0%	19 18.1%	1 1.0%	46 54.1%	35 41.2%	63 74.1%	21 24.7%	30 35.3%	6 7.1%	13 15.3%	36 42.4%	8 9.4%	
不詳		406 100.0%	324 79.8%	56 13.8%	26 6.4%	149 46.0%	89 27.5%	232 71.6%	74 22.8%	60 18.5%	26 8.0%	31 9.6%	140 43.2%	21 6.5%	
出産1年半後(第2回調査時)の就業状況		家事(専業)	26,257 100.0%	22,708 86.5%	3,006 11.4%	543 2.1%	10,744 47.3%	6,894 30.4%	17,617 77.6%	6,632 29.2%	2,806 12.4%	1,676 7.4%	1,133 5.0%	9,621 42.4%	1,058 4.7%
		無職	1,810 100.0%	1,580 87.3%	201 11.1%	29 1.6%	710 44.9%	539 34.1%	1,153 73.0%	418 26.5%	287 18.2%	125 7.9%	110 7.0%	671 42.5%	78 4.9%
		学生	62 100.0%	50 80.6%	12 19.4%	0 0.0%	26 52.0%	21 42.0%	34 68.0%	16 32.0%	17 34.0%	4 8.0%	10 20.0%	17 34.0%	3 6.0%
	勤め(常勤)	4,852 100.0%	4,070 83.9%	656 13.5%	126 2.6%	1,837 45.1%	1,123 27.6%	2,992 73.5%	1,161 28.5%	1,190 29.2%	227 5.6%	626 15.4%	1,149 28.2%	226 5.6%	
	勤め(パート・アルバイト)	3,696 100.0%	3,109 84.1%	508 13.7%	79 2.1%	1,269 40.8%	1,235 39.7%	2,060 66.3%	786 25.3%	1,163 37.4%	203 6.5%	392 12.6%	1,057 34.0%	136 4.4%	
	自営業・家業	1,748 100.0%	1,473 84.3%	236 13.5%	39 2.2%	684 46.4%	397 27.0%	1,020 69.2%	368 25.0%	654 44.4%	122 8.3%	115 7.8%	599 40.7%	57 3.9%	
	内職	577 100.0%	505 87.5%	64 11.1%	8 1.4%	197 39.0%	191 37.8%	333 65.9%	111 22.0%	243 48.1%	41 8.1%	24 4.8%	186 36.8%	19 3.8%	
	その他	119 100.0%	99 83.2%	19 16.0%	1 0.8%	57 57.6%	45 45.5%	66 66.7%	23 23.2%	37 37.4%	3 3.0%	6 6.1%	33 33.3%	9 9.1%	
	不詳	189 100.0%	151 79.9%	26 13.8%	12 6.3%	62 41.1%	50 33.1%	107 70.9%	40 26.5%	33 21.9%	11 7.3%	15 9.9%	60 39.7%	5 3.3%	
	出産1年半後(第2回調査時)の就業状況2	学生・有職	11,054 100.0%	9,306 84.2%	1,495 13.5%	253 2.3%	4,070 43.7%	3,012 32.4%	6,505 69.9%	2,465 26.5%	3,304 35.5%	600 6.4%	1,173 12.6%	3,041 32.7%	450 4.8%
		仕事を探している	3,400 100.0%	3,041 89.4%	288 8.5%	71 2.1%	1,300 42.7%	1,274 41.9%	2,272 74.7%	818 26.9%	1,058 34.8%	327 10.8%	226 7.4%	1,265 41.6%	160 5.3%
		探していない	22,395 100.0%	19,340 86.4%	2,622 11.7%	433 1.9%	9,226 47.7%	5,566 28.8%	15,067 77.9%	5,706 29.5%	1,778 9.2%	1,319 6.8%	928 4.8%	8,181 42.3%	880 4.6%
		不詳	2,461 100.0%	2,058 83.6%	323 13.1%	80 3.3%	990 48.1%	643 31.2%	1,538 74.7%	566 27.5%	290 14.1%	166 8.1%	104 5.1%	906 44.0%	101 4.9%

(前ページの続き)

		子どもをもって負担に思うこと(第2回)				子どもをもって負担に思うことの内容(第2回)									
		負担に思うことがある	負担に思うことがない	不詳		子育てによる身体 の疲れが大きい	子育てで 出費がかさむ	自分の自 由な時間 が持たない	夫婦で楽 しむ時間 がない	仕事で十 分にでき ない	子育てが 大変なこ とを理解 してくれ ない	子どもが 病気がち である	目が離せ ないので 気が休ま らない	その他	
	合計	20221	17395	2423	403	8140	5380	13181	5317	3168	955	1277	6574	817	
ふだんの保育者	お父さん	100.0%	86.0%	12.0%	2.0%	46.8%	30.9%	75.8%	30.6%	18.2%	5.5%	7.3%	37.8%	4.7%	
	母の母親	5854	4918	813	123	2238	1527	3578	1226	1137	269	410	1932	236	
	100.0%	84.0%	13.9%	2.1%	45.5%	31.0%	72.8%	24.9%	23.1%	5.5%	8.3%	39.3%	4.8%		
	母の父親	2244	1857	346	41	857	583	1368	478	446	108	151	732	88	
	100.0%	82.8%	15.4%	1.8%	46.1%	31.4%	73.7%	25.7%	24.0%	5.8%	8.1%	39.4%	4.7%		
	父の母親	4625	3903	626	96	1639	1151	2942	1168	821	237	267	1533	160	
	100.0%	84.4%	13.5%	2.1%	42.0%	29.5%	75.4%	29.9%	21.0%	6.1%	6.8%	39.3%	4.1%		
	父の父親	2001	1678	283	40	718	477	1270	512	330	101	107	641	79	
	100.0%	83.9%	14.1%	2.0%	42.8%	28.4%	75.7%	30.5%	19.7%	6.0%	6.4%	38.2%	4.7%		
	保育士	6401	5408	819	174	2474	1992	3635	1461	1946	379	1064	1572	291	
100.0%	84.5%	12.8%	2.7%	45.7%	36.8%	67.2%	27.0%	36.0%	7.0%	19.7%	29.1%	5.4%			
保育ママさん	175	154	17	4	94	59	101	57	71	9	19	56	10		
100.0%	88.0%	9.7%	2.3%	61.0%	38.3%	65.6%	37.0%	46.1%	5.8%	12.3%	36.4%	6.5%			
その他	896	721	145	30	296	270	510	203	203	41	56	278	49		
100.0%	80.5%	16.2%	3.3%	41.1%	37.4%	70.7%	28.2%	28.2%	5.7%	7.8%	38.6%	6.8%			
保育士等の利用	利用せず	32,782	28,227	3,895	660	13,047	8,462	21,678	8,057	4,441	2,025	1,357	11,776	1,294	
	100.0%	86.1%	11.9%	2.0%	46.2%	30.0%	76.8%	28.5%	15.7%	7.2%	4.8%	41.7%	4.6%		
利用する	6,528	5,518	833	177	2,539	2,033	3,706	1,498	1,989	387	1,074	1,617	297		
100.0%	84.5%	12.8%	2.7%	46.0%	36.8%	67.2%	27.1%	36.0%	7.0%	19.5%	29.3%	5.4%			
同居者構成	父母のみ	14,209	12,357	1,579	273	5,550	3,257	9,574	3,896	2,118	743	632	4,780	607	
	100.0%	87.0%	11.1%	1.9%	44.9%	26.4%	77.5%	31.5%	17.1%	6.0%	5.1%	38.7%	4.9%		
	父母ときょう だいのみ	15,943	13,729	1,838	376	6,832	4,882	10,196	3,759	2,615	1,044	1,184	5,463	632	
	100.0%	86.1%	11.5%	2.4%	49.8%	35.6%	74.3%	27.4%	19.0%	7.6%	8.6%	39.8%	4.6%		
	父母と母方 の祖父母	2,123	1,764	315	44	782	572	1,285	471	372	117	152	733	81	
	100.0%	83.1%	14.8%	2.1%	44.3%	32.4%	72.8%	26.7%	21.1%	6.6%	8.6%	41.6%	4.6%		
	父母と父方 の祖父母	5,783	4,879	793	111	1,976	1,435	3,664	1,345	943	432	314	2,008	210	
	100.0%	84.4%	13.7%	1.9%	40.5%	29.4%	75.1%	27.6%	19.3%	8.9%	6.4%	41.2%	4.3%		
	父母と祖父 母	11	8	2	1	6	2	4	2	2	2	1	2	0	
	100.0%	72.7%	18.2%	9.1%	75.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	12.5%	25.0%	0.0%		
	父母とその他	155	126	28	1	56	45	79	42	34	9	12	46	6	
100.0%	81.3%	18.1%	0.6%	44.4%	35.7%	62.7%	33.3%	27.0%	7.1%	9.5%	36.5%	4.8%			
母のみ又は 母ときょうだ い	458	391	55	12	198	146	252	15	166	34	84	146	24		
100.0%	85.4%	12.0%	2.6%	50.6%	37.3%	64.5%	3.8%	42.5%	8.7%	21.5%	37.3%	6.1%			
母と祖父 母等	627	491	117	19	186	156	328	25	180	31	52	215	31		
100.0%	78.3%	18.7%	3.0%	37.9%	31.8%	66.8%	5.1%	36.7%	6.3%	10.6%	43.8%	6.3%			
その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
同居者構成の変化	第1回から祖 父母と別居	29,895	25,842	3,410	643	12,277	8,058	19,527	7,483	4,764	1,760	1,847	10,128	1,229	
	100.0%	86.4%	11.4%	2.2%	47.5%	31.2%	75.6%	29.0%	18.4%	6.8%	7.1%	39.2%	4.8%		
	祖父母と別 居 → 同居	1,224	1,008	181	35	417	305	743	258	216	87	89	397	49	
	100.0%	82.4%	14.8%	2.9%	41.4%	30.3%	73.7%	25.6%	21.4%	8.6%	8.8%	39.4%	4.9%		
	第1回から祖 父母と同居	7,295	6,113	1,043	139	2,523	1,852	4,528	1,584	1,271	494	427	2,550	273	
	100.0%	83.8%	14.3%	1.9%	41.3%	30.3%	74.1%	25.9%	20.8%	8.1%	7.0%	41.7%	4.5%		
	祖父母と同 居 → 別居	890	776	94	20	367	278	578	226	178	71	67	314	39	
100.0%	87.2%	10.6%	2.2%	47.3%	35.8%	74.5%	29.1%	22.9%	9.1%	8.6%	40.5%	5.0%			
不詳	6	6	0	0	2	2	6	4	1	0	1	4	1		
100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	100.0%	66.7%	16.7%	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%			
育児の悩み相談者の 有無	相談する	37,029	32,526	4,408	95	15,089	10,131	24,558	9,294	6,161	2,257	2,351	12,928	1,524	
	100.0%	87.8%	11.9%	0.3%	46.4%	31.1%	75.5%	28.6%	18.9%	6.9%	7.2%	39.7%	4.7%		
	誰にも相談し ない	377	351	24	2	188	134	254	83	111	114	38	181	27	
100.0%	93.1%	6.4%	0.5%	53.6%	38.2%	72.4%	23.6%	31.6%	32.5%	10.8%	51.6%	7.7%			
不詳	1,904	868	296	740	309	230	570	178	158	41	42	284	40		
100.0%	45.6%	15.5%	38.9%	35.6%	26.5%	65.7%	20.5%	18.2%	4.7%	4.8%	32.7%	4.6%			

Ⅲ. 資 料 編

1 パネル調査分析手法に関する文献集目録

※発行年順

I パネル調査の調査法・分析手法

- 1 ハーベイ・ゴールドスタイン(小嶋 一敏 訳). 1988.『変化と成長の統計学』九州大学出版会 (Goldstein Harvey.1979. *The Design and Analysis of Longitudinal Studies: Their Role on the Measurement of Change*. Academic Press Inc.,London.)
「第1章 縦断調査の理論と実際」
「第7章 データ処理」
「補遺 縦断データの前処理に図表を用いる方法」
- 2 Johnson, David R. 1988. "Panel Analysis in Family Studies." *Journal of Marriage and the Family*. Vol.50, pp.949-955.
- 3 Allison, Paul D.1994. "Using Panel Data to Estimate the Effects of Events." *Sociological Methods and Research*, 23-2, pp.174-199.
- 4 Johnson, David R., 1995. "Alternative Methods for the Quantitative Analysis of Panel Data in Family Research: Pooled Time-Series Models." *Journal of Marriage and the Family*, Vol.57, pp. 1065-1077.
- 5 グレン・H・エルダー, ジャネット・Z・ジール(正岡寛司・藤見純子訳).2003.『ライフコース研究の方法: 質的ならびに量的アプローチ』明石書店(Giele J. H. and G. H. Elder (eds.)1998. *Methods of Life Course Research: Qualitative and Quantitative Approaches*. Sage
「第Ⅱ部 データ収集と測定」
「第4章 データの組織化と概念化」
「第5章 縦断研究における人生史の遡及法と逐次法による測定」
「第6章 追跡接続調査における対象者の探索」
「第7章 人生史データを収集すること—ドイツ人生史研究の経験から」
- 6 Alderman, Harold , Jere R. Behrman, Hans-Peter Kohler, John A. Maluccio, Susan Cotts Watkins. 2001. "Attrition in Longitudinal Household Survey Data.", *Demographic Research*. Vol. 5, 4 , www.demographic-research.org
- 7 北沢 良継. 2001.「パネルデータ計量経済学の最近の動向」*エコノミクス*. 6(1), pp.89-99.
- 8 稲葉昭英.2002.「Pooled time series モデル」『*家族社会学研究*』14-1, pp.5-10.
- 9 畠田 敬.2003.「エクセルによるパネルデータ分析の方法」『*経済集志*』73(1),pp.97-110.
- 10 北村行伸. 2003.「パネルデータ分析の新展開」『*経済研究*』,54(1).pp.74-93.
- 11 松田 芳郎,舟岡 史雄, 清水 雅彦.2003.「パネル統計データによる分析(第4章)」『講座 ミクロ統計分析(4) 企業行動の変容—マイクロデータによる接近』日本評論社.
「4.1 工業統計マイクロデータを用いた事業所動態現象に関する実証分析」
「4.2 企業パネル・データによるわが国の雇用創出・雇用喪失分析」
- 12 山口一男.2003.「米国より見た社会調査の困難」『*社会学評論*』53-4, pp.552-565.

- 13 駿河輝和,西本真弓.2003.「マイクロパネルデータの分析手法」『人口学研究』第32号, pp.19-24.
- 14 村上あかね.2003.「消費生活に関するパネル調査」の概要」『人口学研究』第32号, pp.25-31
- 15 樋口美雄, 太田清, 新保一成. 2004.「パネルデータとは何か ーパネルデータによる経済分析1ー」『経済セミナー』,2004年6月号, pp.68-73.
- 16 樋口美雄, 太田清, 新保一成. 2004.「パネルデータの利点(1) ーパネルデータによる経済分析2ー」『経済セミナー』, 2004年7月号, pp.64-68。
- 17 樋口美雄,太田清, 新保一成. 2004.「パネルデータの利点(2) ーパネルデータによる経済分析3ー」『経済セミナー』, 2004年8月号, pp.78-82.
- 18 樋口美雄,太田清,新保一成.2004.「パネルデータの利点(3) ーパネルデータによる経済分析4ー」『経済セミナー』, 2004年9月号, pp.57-61.
- 19 樋口美雄,太田清, 新保一成.2004.「パネルデータの利点(4) ーパネルデータによる経済分析5ー」『経済セミナー』, 2004年10月号, pp.103-107.
- 20 山口一男.2004.「パネルデータの長所とその分析手法:常識の誤りについて」『季刊家計経済研究』No.62, pp.50-58.
- 21 馬場康彦,近藤克則.2004.「社会的ネットワークと主観的健康観:縦断分析による検証」『季刊家計経済研究』No.62, pp.59-67.
- 22 Halaby, Charles N., 2004. "Panel Models for the Analysis of Change and Growth in Life Course Studies.", Handbook of the Life Course, edited by Jeylan T. Mortimer and Michael J. Shanahan. Kluwer Academic/Plenum Publishers, New York, 2004, pp. 503-527.
- 23 山口一男,2005.「少子化の決定要因と対策についてー夫の役割、職場の役割、政府の役割、社会の役割」『季刊家計経済研究』No.66, pp.57-67.

II. イベントヒストリー分析

- 1 Allison, Paul D. 1982. "Discrete-Time Methods for the Analysis of Event Histories," Sociological Methodology, Vol. 13, pp. 61-98.
- 2 Allison, Paul D. 1984. *Event History Analysis -Regression for Longitudinal Event Data* , Sage Publications, Inc.
- 3 Blossfeld, Hans-Peter, and Gotz Rohwer. 2002. *Techniques of Event History Modeling: New Approaches to Causal Analysis, Second Edition*. Mahwah: Lawrence Erlbaum Associates, Inc.
"Chapter1 Introduction"
"Chapter2 Event History Data Structures"
- 4 山口一男.2002-2003.「イベントヒストリー分析(1)～(14) ,(最終回)」『統計』52(9)～53(11).

2 21世紀縦断(パネル)調査データ管理システム(PDB21)使用マニュアル

21世紀パネル(縦断)調査DBシステム マニュアル編

- 1 パネル調査データベース データ作成マニュアル 389
- 2 パネル調査データベース データ作成マニュアル(夫婦編) 417
- 3 パネル調査データベース データ抽出マニュアル 437
- 4 パネル調査データベース データ抽出マニュアル(夫婦編) 447

パネル調査データベース データ作成マニュアル

目 次

0. はじめに	1
1. データ作成のための準備	1
1. 1 ファイルの確認	1
1. 2 変換記述表のコピー	1
2. 調査票情報作成	3
2. 1 作成処理の実行	3
2. 2 結果の確認	4
3. 調査票情報・コードマスタ CSV ファイル出力	6
3. 1 ファイル出力の実行	6
3. 2 出力結果の確認	6
4. 調査票データ CSV ファイル出力	8
4. 1 ファイル出力の実行	8
4. 2 出力結果の確認	8
5. テーブル作成	11
5. 1 PostgreSQL 管理ツール「pgAdminIII」の起動	11
5. 2 テーブル作成実行	13
5. 3 実行結果の確認	15
6. データロード	17
6. 1 初期データ登録	17
6. 2 ロード対象レコードの削除	19
6. 3 CSV ファイルのロード	21
7. 取り込み結果の確認	24
6. 1 初期データ登録	17
6. 2 ロード対象レコードの削除	19